

## 「上牧町地域福祉計画及び地域福祉活動計画」 に係るパブリックコメントの結果について

- 実施期間:令和8年2月9日(月曜日)から令和8年2月27日(金曜日)まで
- 実施方法:町ホームページへの掲載、町内5か所で素案の掲示
- 結果:提出件数 5件

※いただいたご意見については、内容が重複するものや関連するものを整理し、一つにまとめて回答しています。

### 意見の概要

飼育困難となった動物への対応に関し、単なる民間団体への紹介に留まらない、町が主体となった実効性のある相談窓口および専門部署(福祉・医療・動物の専門家やボランティア等の連携チーム)の設置を求めます。その際、保護にかかる費用を町が助成する仕組みも検討すべきです。

あわせて、飼育を希望する意欲あるシニア層と動物を適切に繋ぐ町独自のマッチングシステムの構築を提案します。これにより、高齢者の生きがいづくりと動物の命を救う活動を両立させ、制度の狭間で孤立する人や動物をなくすことを目指すべきです。

啓発面では、福祉介入が必要になる前の「飼い主の責任」の徹底や、地域猫活動への理解、適切な飼育方法について、特に高齢者層を重点とした継続的な普及啓発が必要です。

さらに、多頭飼育崩壊等の複合的困難事例への対応や、飼い主の入院・通院時の支援、災害時のペット同行避難の体制整備など、福祉・防災の両面からペットとの共生を支える包括的なネットワーク作りを早急に進めてください。こうした体制整備は、飼い主のみならず、現場で苦慮する福祉関係者の支援にも直結し、真の地域福祉の実現に資するものと考えます。

### 町の回答

上牧町では、「人と人々が手を取り合い、支え合い安心して暮らせるまちづくり」を本計画の基本理念として掲げ、地域福祉の充実に向けた施策を推進しております。

町内において動物愛護や福祉活動に尽力されているボランティア団体や活動者の皆様の活動は、地域の支え合いを形作るうえで非常に重要な役割を担っていると認識しております。

ご指摘いただいた飼育困難な動物への対応や高齢飼い主への支援については、町単独の力のみで解決することは難しく、ボランティアや専門職、地域の皆様と力を合わせて取り組むべき重要な課題であると考えております。

いただいた貴重なご意見については、関係各課とも共有し、高齢飼い主への包括的な相談支援体制や関係機関等とのネットワークの構築に向けた検討など、庁内検討会等の場を通じて多角的な視点から検討を進めてまいります。今後も、関係機関や活動団体の皆様と連携を図りながら、人と動物が共生できる地域づくりを目指してまいります。